

# 大阪暁明館 だより

2015.1  
Winter

## 大阪暁明館病院 基本理念

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

## 職員行動指針

我々は、

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

# 開放型病床年次総会・病診連携会開催

## 懇親会も和やかに

平成26年11月22日(土)午後3時から、「第14回開放型病床年次総会・病診連携会及び懇親会」を、大阪市港区のホテル大阪ベイタワーで開催しました。この会は、当院と近隣の診療所やクリニックとの協力関係をさらに一層推進し、地域医療の充実を図る目的で毎年1回開催しているもので、此花区を中心に34名の開業医の皆様と、当院からは平尾名誉院長、坂院長、友清看護部長など総勢60名の関係者が参加しました。

始めに、平尾名誉院長が開会の辞を述べ、此花区医師会の木下隆弘会長があいさつをされました。続いて、坂院長が病院の現況について報告。当院循環器病センター長の安本均医師が「虚血性心疾患の予後改善に向けて」、平尾名誉院長が「当院における排尿障害診療の展望」と題して講演を行い、質疑応答も活発に行われました。

この後、別室に場所を移して懇親会を開催。おいしい料理に舌包みを打ちながら和やかに歓談しました。



約 60 名が参加しました



開会の辞を述べる  
平尾佳彦名誉院長



別室に移動して、  
懇親会を開きました。

# 「病気になる」ということに意味などあるのか

臨床心理士 日野 暎子(当院職員カウンセラー)

どういう時に病気になるのかを考えてみると、身体の病気でさえも精神的なある状況と関連して起こることが多いように思います。

確かに頭を悩ませる課題をかかえている時は、免疫が落ちると言われているので、心理的、精神的なことと関係がありそうです。価値観を揺るがされるような体験をした後とか、人生の転機、災害により家や家族を一瞬で失うような喪失を体験した後とかに病気になること聞いたことはあります。

病気になるそれまでの日常生活から距離をおかざるを得なくなります。では、病気というものは、その人の人生にどういう意味をもたらそうとしているのか、そのことについて考えてみるのも無駄ではないように思います。

ドイツの精神医学の研究者クルト・シュナイダーが、人間にはいつでも4つの不安があると言っています。1.生命喪失の不安、2.経済力がなくなる不安、3.社会的地位や対人関係がなくなる不安、そして、4.倫理的不安(自信過小になり規範意識や倫理観が強迫的に強まる)の4つです。

病気になるこれらが一度に押し寄せてきて、当然エネルギーは低下し、反対に不安が前面に出てきます。その不安が更に症状に焦点付けられるのです。そういう意味では、病気は内からなるという言い方もできるかもしれません。心の痛みの置き換えとも言えます。更に言うと、病気への意思がある、と言うといい過ぎでしょうか。

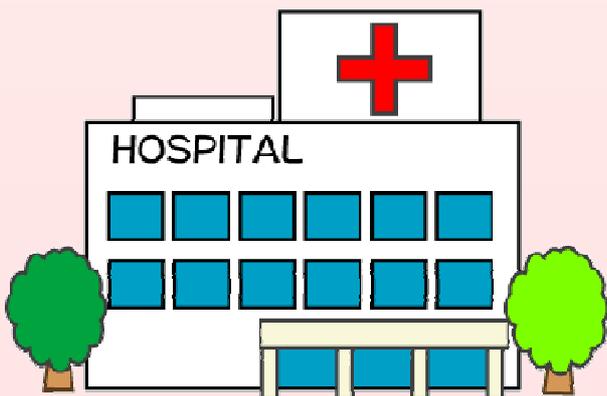


病気と健康とはいずれもひとつの同じ生命の表現形式でもあります。病気を通してどういう意思を表現しようとしているのか。自分自身の在り方を根本的に揺るがすような病気をなぜ病まなければならないのか。身体と心の交錯するところに病の意味があるように思えます。休養したい、逃避として、腹いせ、存在の証しとして、つまり、疾病利得として病気を無意識的に選んでいる場合もあるのではないのでしょうか。

子供の症状ではよく体験します。子供は内面を言語で表現することが下手であるため、身体言語(身体が言語のかわりをする)で疾病利得として不安を身体化し症状化します。その結果、家族や周りを不安定にさせる。実は無意識的にこれを狙っているように思います。病気であることが自分の存在の証しになっていることが多いのです。

又、大人の中で自分から肝臓を悪くするとか、慢性自殺のような意思の明確な病気もあります。病気になる身体が動かない反面、意識は非常に活発に働くようになります。すると、個人の生活や自分の人生のテーマと病気とを関係付けようとし、自分の病気を意味付けし、自分の中でひとつの物語を作っていく。そして健康を取り戻したときに全員が同じことを口にする。「病気のおかげで人生が開けた」「今迄見えていなかったものが見えるようになった」と。

となるとやはり、病気はその人なりになるべくしてなるのであり、その人がその意味を自分なりに認め、物語としてまとめたとき、かなり病気を征服したと言えるのではないのでしょうか。

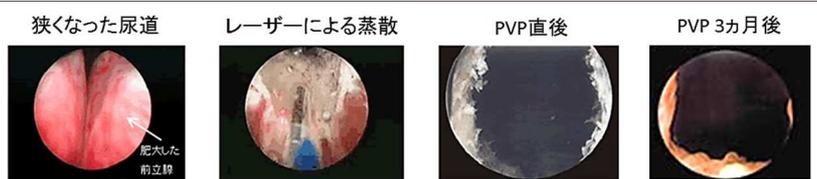


# 最新の前立腺肥大症手術のご案内

## ～ 光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP) ～

前立腺肥大症は、中高年の男性に見られる良性の疾患で、前立腺という組織が加齢と共に徐々に肥大していくものです。尿の出方が悪い、頻繁にトイレに行きたくなる、排尿後もすっきりしないなど様々な症状が出ます。従来から低侵襲手術として、水（灌流液）で視野を確保しながら、尿道から内視鏡下に前立腺を高周波メスで切除する手術が行われてきました。この手術は高い治療効果があるものの、手術中の出血量が比較的多く、術後に尿道カテーテルを留置する期間が長いなどの課題がありました。

最新の治療法である光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP)は、これらの課題に対応している、より患者さまに優しい手術です。PVPに使用する緑色レーザー光には、水にはほとんど吸収されない一方、血液中の酸化ヘモグロビンに選択的に吸収され、強い熱エネルギーを生じさせる特性があります。水（灌流液）で視野を確保しながら、内視鏡を使って血流の豊富な前立腺組織にこのレーザー光を照射すると、組織は瞬時に加熱・気化（蒸散）され、同時に蒸散部の表面に1～2mm程度の薄い凝固層ができます。PVPでは、緑色レーザー光による肥大組織の強力な蒸散効果と確実な止血凝固効果が発揮されるため、前立腺肥大症による下部尿路閉塞が効率的かつ安全に解除されます。詳しくは当院泌尿器科外来までお問い合わせください。



# お近くの「かかりつけ医」ご紹介

とりしましんりょう しょ

## 西島診療所

内科・小児科・皮膚科・  
ペインクリニック

「負担は軽く、質は高くをモットーにしています。何でも相談できる、オープンな診療所をめざしています」

所長 田村 耕一郎



- 在宅医療、往診 ●健康診断 ●エコー ●各種予防接種

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9時00分～12時00分	●	●	●	●	●	●
18時00分～20時00分	/	●	●	●	●	/

※月曜午後、土曜午後、日曜・祝日休診

※**小児科**:毎週水・金曜午後、第4土曜午前 **皮膚科**:火曜午後

〒554-0051 大阪市此花区西島4-2-3

電話06-6461-4459 <http://www.k-hakuaikai.jp/torishima>





# クリスマスをお祝いしました!

## クリスマスコンサート

12月20日(土)午後2時から、恒例の院内クリスマスコンサートを開きました。入院患者さまやご家族など80名以上の方々にご来場頂き、パイプオルガンをバックに、素敵な音楽を楽しんで頂きました。始めに、当院職員・松岡優子さんがパイプオルガンで「イエスは人の望みの喜びよ」「きよしこの夜」など7曲を演奏。続いて、此花少年少女合唱団とフィオリムジカールの皆さんが、「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」などのクリスマスソングと唱歌メドレーを披露されました。子供たちのかわいらしい歌声に、患者さまたちも笑顔で大きな拍手を送っていました。



## クリスマス礼拝



12月10日(水)午後5時から、1階インマヌエルホールでクリスマス礼拝を開催しました。大阪暁明館病院伝道所の岸本光子チャプレンの司会で、当院の職員が聖書を朗読。パイプオルガンの伴奏で、患者さまや地域の方々など全員で讃美歌を歌いました。この日は、ハンドベルグループ「Dancing Bells」の皆さんが来て下さり、「まきびとひつじを」など6曲を演奏。本格的なハンドベルの美しい音色に皆さん聴き入っていました。最後に「きよしこの夜」を全員で歌い、クリスマスを祝いました。



## ご存知ですか? 無料低額診療制度

無料低額診療制度は、病気や怪我により生計困難をきたす恐れのある方や経済的理由により適切な医療を受けることができない方に対して、医療費の負担を無料、または低額にすることで安心して医療を受けていただく制度です。

当院では、以下のようなご事情をお持ちの方を事業の対象にしています。

- ①低所得者世帯で経済的理由により診療費の支払いが困難な方
- ②年金収入だけでは生活がままならず、医療費の支払いが難しい方等

※無料低額診療制度開始には審査が必要となります。

詳しくは、  
大阪暁明館病院  
医療連携課  
医療福祉相談室まで  
ご相談下さい。



## 新入職医師紹介

しのはら まさたけ  
泌尿器科 医師 篠原 雅岳

- 出身大学  
奈良県立医科大学
- 専門  
泌尿器科一般
- 資格  
日本泌尿器科学会専門医  
日本がん治療認定医



「地域医療に貢献させていただきます。どうぞよろしくお願い致します」

## 大阪暁明館だより

平成27年1月20日発行



社会福祉法人 大阪暁明館  
大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条 5-4-8  
電話(06)6462-0261(代表)  
FAX(06)6462-0362  
<http://www.gyoumeikan.or.jp>